

長崎いのちの電話 相談ボランティア募集



あなたのやさしさを自殺防止の電話相談ボランティアに生かしてみませんか？

- 応募資格** 22歳から68歳までの男女
※所定の研修(養成研修)を終了し、相談員として認定を受けます。
- 応募期間** 平成29年3月1日(水)～5月31日(水)
当日消印有効
- 受講期間** 前期／平成29年6月3日～10月31日
後期／平成29年11月～平成30年9月
- 受講料** 前期／8,000 円 後期／24,000 円
(別途宿泊研修費 10,000 円程度が必要です)

相談員応募者には受講申込書と募集要項をお送りします。下記の事務局までお問合せ下さい。

社会福祉法人 長崎いのちの電話事務局
☎095-843-4410 ※受付時間 9:00～17:00(平日のみ)

話し相手ボランティア 養成講座開催のお知らせ

一人暮らしの高齢者などが孤独感や不安などを解消できるよう精神面を支え心豊かな生活を支援することを目的に、話し相手となるボランティアを養成する講座を実施します。



- ◆**日時** 平成29年5月18日(木)
13:00～16:00
 - ◆**場所** させぼ市民活動交流プラザ
 - ◆**参加費** 無料
 - ◆**主催** 佐世保市ボランティアセンター
 - ◆**内容** ・ボランティア活動と話し相手ボランティアの役割
・高齢者の特性・コミュニケーションのとり方
- 詳しくは**ボランティアセンター**へ

ようこそ！赤ちゃん&子どもフェスタで、ボランティアさんが活動！

2月15日～22日の7日間、島瀬美術センターと市立図書館の2会場で“ようこそ！赤ちゃん&子どもフェスタ ～おはなしがいっぱい～”が開催されました。

おはなし会やワークショップ、座談会などを通じ、産前産後の切れ目ない支援や子育ての新制度について楽しく学ぶ場になればと NPO 法人「ちいきのなかま」「子どもと女性のエンパワメント佐世保」の協力のもと、実行委員会の主催で実施され、親子連れなど約2,000人の参加がありました。

当センターからも「子どもを地域で支えるボランティア講座」を受講された方々や登録ボランティアの方、清峰高校の学生さんがボランティア活動されました。

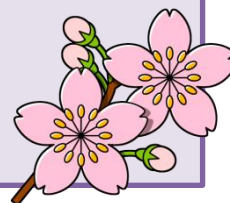


受付や会場のご案内、来場した赤ちゃんや子どもたちの安全見守りなどの活動をされるボランティアの皆さん



情報お待ちしています！

あなたが街で見掛けたボランティアさんや、もっと皆さんに知ってもらいたい活動などなど、くれよんに紹介したいボランティアの情報を募集中です。ぜひお気軽にボランティアセンターまでご連絡下さい。あなたの情報をお待ちしています！



あなたらしさで広がるボランティア くれよん KUREYON



2017年度 第1号
平成29年4月1日

読み聞かせボランティアをする「佐世保の桃太郎」



佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)
〒857-0864 佐世保市戸尾町 5-1 させぼ市民活動交流プラザ 1 階
TEL : 0956-23-3905 / FAX : 0956-42-0102 E-mail : kureyon@sasebo-shakyo.or.jp
時間 / 10:00～18:45 (火～土) 10:00～17:00 (日)
休館日 / 月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日



「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

笑顔と福。そして「いやし」をお届けします♡

🍑お母さんは佐世保の桃太郎🍑



白塗りの顔に、真っ黒な囲い目、高くそびえ立つちょんまげに、色鮮やかな衣装の桃太郎。

仮装したお供の猿・キジ・犬や鬼と一緒に活動されている、とても目を引く一行を市内のイベントなどで見かけられた方も多いのではないのでしょうか。

その中心にいる女性は、当センターに登録し活動されているボランティアの「佐世保の桃太郎」(通称:桃ちゃん)こと、迎 あやさんと、そのご家族“桃太郎一家”です。

“桃太郎一家”はボランティアで各地の夏祭りや文化祭などのイベント、敬老会や施設、被災地熊本への慰問など様々な場所で活躍されています。



【桃太郎一家は変幻自在。時にはひょっとこ、時にはお相撲さんなど様々なコスチュームとパフォーマンスで場を盛り上げます。

ダンスや出し物は、その活動に合ったものをご家族みんなで考えて、練習されているそうです。

衣装は手作りの物も多く、日常の生活や会話などで浮かんだものをアイデアにされているそうです。】

桃太郎の紙芝居

平成29年2月21日、木風小学校の4年生が10歳になった記念に、2分の1成人式が行われ、お祝いに駆け付けた桃太郎を、47名の児童と約50名の保護者が一斉に大きな拍手で迎えました。

「初めて見た人からは“おじさん？”ってきかれるけど、桃ちゃんはお母さんです。」という語りで始まったのは、迎さん自身の半生を桃太郎になぞった手作り紙芝居。

内容は、家族や周囲の人達の大切さや感謝の気持ちに気づかせるものでした。

始めは、インパクトの強い桃太郎の姿に圧倒された様子の児童たちでしたが、読み聞かせボランティアとしても活動されている迎さんの穏やかながらもコミカルな口調に、どんどん引き込まれ、保護者の皆さん方も内容に感心しうなずかれていました。



【迎さんが手作りされた紙芝居。分かりやすく楽しい内容に笑いが起こります】

家族で楽しく、たくさんの人に笑顔を

ひょうきんな姿で笑顔を届ける迎さんですが、素顔は家庭を守るお母さん。

そのパワーの源について尋ねると、「母親業を優先しながらボランティア活動もできるのは、家族の理解と協力のおかげです。

生まれてすぐ養子縁組で佐世保に来ましたが、育ててくれた両親への感謝と、“結婚し子宝に恵まれたら、家族で楽しいことをしたい”との思いがずっとありました。仮装を始めたきっかけも子ども達との思い出をつくるため。」

「テレビ番組の出演をきっかけに、家族以外の人にも幸せを分けてあげたい。私たちの姿を見て、いろんな生い立ち、境遇の方々にも笑顔になってもらえたら。」と話して下さいました。



【普段は物静かではにかみやの普通のお母さんですが、ひとたびコスチュームに袖を通せば「佐世保の桃太郎」に大変身！お子さん達も普段の呼び方を「お母さん」から「桃ちゃん」に変えて、お供をしてくれます。】



【アロマタッチングケアセラピストの資格を持ち、施設やイベントボランティアでハンドマッサージをする迎さん。その姿とテクニックで心も体もぽかぽかリラックスさせちゃいます】

ボランティア活動を通じて様々なご縁が広がり「あなたに逢えて良かった」と言ってもらえたことが、とても心に残っているという迎さん。

ご主人、お母様、お子さん2人、飼い犬のゴンタと桃ちゃんの“桃太郎一家”を見ると、あたたかい気持ちになるのは、家族の絆や人と人との繋がりの大切さを思い出させてくれるからかも知れません。

お子さんも大きくなり“桃太郎一家”での活動は少なくなるとの事ですが、今後も桃ちゃんは読み聞かせやアロマタッチングケアセラピストなど、いろいろな地域で精力的に活動を続けていかれる予定です。

「佐世保の桃太郎」こと桃ちゃんへの活動依頼は、ボランティアセンターまでどうぞ。

中里皆瀬地区ボランティア養成講座を開催しました

去る2月19日(日)、26日(日)の2日かけ、中里皆瀬地区公民館にて「支え合いづくり講座」と題したボランティア養成講座を開催しました。

両日合わせて延べ58名の参加をいただき、佐世保と中里皆瀬の歴史(講師:佐世保市教育委員会社会教育課 溝上 隼弘 氏)や、ボランティアの基礎(ボランティアセンター)、高齢者の心と体の特性(講師:相浦地域包括支援センター 長塚 弘章 氏)、誰にでもできるかんたん介護予防体操の実践(講師:市役所長寿社会課 川崎 千里 氏)の講話と中里皆瀬地区での支え合い活動について意見交換が行われました。

今後は受講された方や地域住民の方々と話し合いながら、地域の様々な支え合い活動やボランティア活動へとつなげていきたいと思っております。



～講座の様子～



この情報紙は「赤い羽根共同募金」の配分を受けて作成しています。